

開催概要

名 称	第 26 回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
日 時	令和 7 年 1 月 15 日 (水) 午後 2 時 00 分 ~ 午後 4 時 00 分
場 所	新潟市役所 ふるまち庁舎 4 階 401 会議室
委 員	岩佐 明彦 (法政大学 デザイン工学部 教授) 岩本 潔 (新潟日報社 企画総務局次長兼資産管理運営企画部長) 高松 智子 (ユニバーサルカラープランナー協会 会長) 高橋 邦夫 (特定非営利活動法人 地域インフラ研究会 理事長) 小沢 謙一 (新潟商工会議所 理事・事業部長) 田中 雅史 (新潟市中央区自治協議会 委員) 内田 剛二 (国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 事務所長) 佐久間 なおみ (新潟市中央区 区長)
事 務 局	新潟市 (まちづくり推進課) 国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所
施設使用者	株式会社 スノーピーク

議事要旨

■議題 1 報告事項

●スノーピークから説明

- ・アウトドアラウンジについては、11 月の体験 CAMP イベント以外はすべて実施。飲食店の実績として、6 店舗が出店、うち、新規店舗が 2 店。売り上げは約 6,400 万円、客数は約 21,000 人。
- ・イベントは実施 23 件 (うち新規が 8 件)、中止 1 件。2023 年に引き続き SUP (利用者 5 名)、新規にヨガ (利用者 38 名) を実施。
- ・地域貢献として、市内中学校の職場体験のほか、ごみ拾い、除草活動、新潟県内の食材を使用したメニューの提供など実施。

●委員からの主な質問・意見とスノーピークからの回答

- ・イベントの中止の理由は天気か？それとも、キャンセルや応募人数が少なかったためか？
→今年度は天候による突然のキャンセルの影響が大きい。
- ・事業の目的としては、「やすらぎ堤に人が滞在して時間を過ごしてほしい」というもので、この取組は手段ということだと思いが、もしかしたら、自由利用の増加や、万代テラスでの取り組みなど、水辺全体としての取り組みが盛り上がっている可能性はないか？全体としてみていかないと、方向性を見誤る可能性がある。
→全体としては把握していないが、アンケートに「フリースペースとして利用できないか」との意見があった。店舗出店がないエリアについては、自由利用している様子を、多く見かけている。
- ・天気だけでなく風速や暑さの問題もあるので、気温や風速も加味した実績の評価とした方が良い。
- ・インバウンド対応した結果としての効果はどうだったか？
→データはないが、体感としては海外の方がいる様子は見られた。近年急増している感じはない。
- ・SUP の利用者数やヨガイベントの利用者数について、なかなか厳しい数字に見える。この取り組み全体としての収益はどのように上げているのか。売り上げや利用者について今年度厳しい結果だったよう

だがテコ入れなどは考えているのか。

→収益の8～9割は飲食出店からの家賃。次年度以降に向けて利用者数を増加させることが最大の課題と考えている。イベントでの収益も大切だが、イベント前後の飲食出店に繋がりがきつてはいないので、その様な作り込みを検討していきたい。

●2024 取組・成果等について、事務局(新潟市)から説明

●委員からの主な質問・意見とスノーピークからの回答

・例えばビックデータなど活用されるといいと思う。新潟駅や万代シティからなどの人の回遊が明らかになれば取組全体としてどうだったかを見えると思う。

・利用者の8割が20-40代とのことだが、スノーピークの顧客層とあっているのか？感覚だがスノーピークの顧客はラグジュアリー層なのに対して、ミズベリングに来ている方は違う層だと感じている。

→スノーピークの顧客層とミズベリングの利用者層のずれはあると感じている。ただ、狙いとして既存の顧客の呼び込みもあるが、新規層の方に気軽に楽しんでいただくという思惑もある。

■議題2 基本協定の延長について

・事務局(新潟市)から説明。スノーピークの方針としては延長の意向であり、今後スノーピークと市で手続きを進める事を報告。

●委員からの主な質問・意見と市からの回答

・今後に向けてポジティブな提案や話があれば聞かせていただきたい。

→再来年(令和8年度)に10周年を迎えるので委員の皆様からのご意見やアイデアをいただければ幸い。

■議題3 今後のスケジュール

・事務局(新潟市)から説明。

→質問等なし

■その他

・今後次年度に向けて、出店者の募集を行うと思うが是非チャレンジ枠などを作ることを検討していきたい。(委員)

・今後の利用者アンケートについて、実施頻度や方法について変更を検討している旨を報告した。(市)

→満足度など取り組みの裏付けとしては重要なのでアンケート自体は引き続き実施していただきたい。(委員)

※第26回信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
配布資料より一部抜粋

1. 水辺アウトドアラウンジ実績報告（2）

【飲食店舗実績】 **【店舗数】** **【出店期間】**
 6店舗（右岸6店舗） 6月20日(木)~9月23日(月):96日間
※前回5店舗（右岸5店舗） ※プレオープン2日間含む 前回102日間 94.1%

店舗 売上実績合計(税抜)		¥64,354,455 前年比 65.1%							
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	営業期間	営業中止日数	
2024	5,907,655	22,457,409	25,876,218	10,113,173		64,354,455	96日	3日	
2023	12,582,809	36,274,800	32,947,527	17,094,446		98,899,582	102日	3日	
2022	10,610,110	41,640,735	27,029,073	18,711,946		97,991,864	100日	3日	
2021	9,899,773	35,868,741	23,463,878			69,232,392	72日	1日	
2019	1,106,426	37,207,817	35,879,938	19,790,978		93,985,159	99日		
2018		35,547,587	29,037,025	12,721,000	3,185,969	80,491,581	107日		
2017		28,240,741	26,031,482	14,268,519		68,540,742	94日		

※営業中止日数：終日営業不可となった日(新潟花火開催日を除く)

店舗 レジ客数合計		21130名(件) 前年比 62.4%					
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	
2024	2,300	7,172	8,189	3,469		21,130	
2023	5,177	12,397	10,323	5,963		33,860	
2022	4,714	15,280	9,876	7,187		37,056	
2021	4,799	13,155	8,824			26,778	
2019	729	16,455	14,066	9,070		40,319	
2018		16,546	12,302	4,969	1,494	35,311	
2017		13,000	12,600	8,800		34,400	